

ちよこっさと寄り道

Vol. 34
2014.9.1



院長の山本です

幕末の海峡

皆様こんにちは。幕末の海峡と聞きどこの海峡か分りますか？

私は夏休みを利用して**山口県**に行ってきました。山口県は長州藩で有名ですね。そうです幕末の海峡は九州と本州を結ぶ**関門海峡**をさします。今回は下関市立博物館で聞いた関門海峡にまつわるお話です。

下関は江戸時代、北前貿易の中継点として、**400もの問屋**があるほど栄えた町だそうです。日本海の産物を大阪や江戸に運ぶには必ず通過しないといけない場所ですし、地形的にも自然な港として恵まれた環境であったようです。

今はというと街を歩いた感想として、勢いに陰りを感じ活気もいまひとつかな・・・。ただ新しい高層マンションもあり貿易関連の会社も多くみられたことから船で生活している街だなと思

いました。

さて皆様、九州と本州一番近いところでどのくらいの幅か想像できますか？ 私は結構遠いのだと思っていましたが、実際関門橋のかかっている所を見ると川幅にしか見えませんでした。

幕末幾多の戦いの場となり火の海と化した関門海峡は**三途の川**と言われたそうです。まさに海でなく川というのが的確な表現でないかと思えます。

ではなぜ火の海と化したかというと、幕末、開国に反対する**即今攘夷論**が長州藩にあり関門海峡を航行する外国商船に向け大砲を向けたことが始まりです。長州藩は当時友好関係にあったオランダ船にも大砲を向け、軍事力に勝る外国船が報復し火の海となったそうです。当時の日本の大砲は性能が悪く近くにいかないとならない為、外国船にこてんぱにやられてしまったそうです。

現在はのどかな関門海峡 この海の下にどれだけの船が眠っているかと思うと胸が詰まります。平和でいられる今に感謝し家路に着きました。

ここで**長州藩**について豆知識。長州藩といえば伊藤博文 高杉晋作 坂本竜馬 木戸孝充 山縣有朋など多くの幕末の名士で有名な藩ですから、結束力の強い一つの藩だと思っていました。



実は仲の悪い5つの藩の連合体だったそうです。長府藩 清末藩 萩藩 徳山藩 吉川藩の5藩で長州藩と言い、ひとつひとつの藩は小さく、中が悪くともまとまらないとたちゆかなかったのではと想像しました。薩長同盟もそのようなお家事情で結ばれたようです。まさに川のようなようです。



歯科医師山本晶子です

みなさま、こんにちは！

私は、重く腰を上げて自宅の書類整理を行いました。書類とは、仕事関連、生活関連、趣味の物と自宅にある全ての書類を一枚ずつ仕分けしました。実は私は、整理整頓があまり得意ではありません。

しかし、以前受けたお片付けセミナーで、**整理整頓は誰でも身につけられるスキル**というお話に後押しされ、私でも出来るかもと、今回重々い腰を上げてみました。

また、スキルを身につけたら後はやるかやらなにかというお話も出て、よっしゃやってみるかとい発奮闘してみました。

ジャンル別のファイルボックスを用意して、さらにその中で「短期」、「長期」、「なんとなく」の3つのホルダーに分けていきました。

「短期」は、ある程度期間が経ったら処分する書類、「長期」は、大事で長期間保存が必要な書類です。「短期」をもうける事で、いちいち捨てる書類を探す手間が省けます。

「なんとなく」は、本当に必要なかすぐに判断できない書類や、重要でもないけれどなんとなく捨てる気になれない書類です。私には「なんとなく」というグレーゾーンがありがたくて、逃げ場があるので楽な気分になり、「なんとなく」のおかげで作業が進みます。

また、日頃見た書類はホルダーの一番手前に入るようにしておく、大掃除の際は後ろから処分すべき書類（全然見ていない書類）を探せばいいので、これまた時間短縮になると教わりました。今回、全部の書類を仕分けし、気分はすっきり爽快です。そして、今後、未処理の箱の書類を溜めすぎないように！が今の目標です。



歯科医師の佐久間です

こんにちは。みなさんは夏を満喫しているでしょうか？ わたしはイベントも多く何事にもアクティブになれる夏が季節の中で一番大好きです。

今年はお盆にお休みを頂いたときに実家である新潟で花火を見てきました。新潟の花火は信濃川のほとりで上がるのですが、それほど混まないの簡単打ち上げ場所の近くまで行けますし、河川敷に寝ころびながらゆっくり見ることができました。

クライマックスには**ナイアガラ大瀑布**といって、信濃川に架かる橋を通行止めにし、橋に花火をしかけて花火によるナイアガラの滝ができあがります！花火の光が水面に反射して、何とも言えないとても幻想的な花火でした。

花火の話題ついにもう一つ、現在の日本三大花火大会にもなっている**新潟の長岡花火**をご紹介します。長岡花火は1879年から始まったと言われている、歴史のある花火大会です。長岡は太平洋戦争で連合艦隊司令長官を務め、真珠湾攻撃を指揮した**山本五十六**の実家があります。そのことで戦争の時に空襲にあったのですが、その復興や、最近では中越地震などの復興を祈願し、どんどん大きくなっている花火大会です。

見どころは、昔から花火の大きさを競い合っており、どんどん大きくなっていった**三尺玉**です。現在は、こ

のまま大きくなっていったら危険が伴うとのことで、正三尺玉ということでは落ちていてくそうです。小さいころから母の実家があるためよく行っていたのですが、見た目も音もとても大きくなってびっくりしたので覚えています。

2005年からは中越花火の復興を祈願し、フエニックスという花火が打ち上げられています。2km以上の幅で打ち上げられるので「超ワールドワイドビッグスリーン」と呼ばれているそうです。とにかく大きくて視界がすべて花火で埋め尽くされるくらい大迫力の花火です。

そんな長岡花火ですが、2015年8月15日の終戦記念日に、戦没者の慰霊と平和を祈念してなんとあの**ハワイの真珠湾**で打ち上げられるそうです。本当に世界を平和にしているのだなと感じて感動的です。

というわけで、機会があればぜひ長岡花火を一度ご覧になってみてはいかがでしょうか。それでは残り少ない夏を堪能しましょう。

診療日

月（月2回）
14:00~19:00
火・水・金
11:00~19:00
土・第3日曜日
10:00~18:00

休診日

月・木・日（第3日曜以外）
祝祭日

〒226-0027

横浜市緑区長津田4-2-18-1F